

空



2009年

SORA 25号

ぼたん雪(25) — 2

柴田 佐知子

美しき辞儀返されし霜の朝

初風や道が細れば漁師町

冬眠の山に響ける杭を打つ

手毬つくよろづの神に囲まれて

三尊のすらりと春の立ちにけり

早春の音立ててゐる山の雨

訪ふ寺のどこもずぶ濡れ遍路杖

蛇穴を出づ堂守はひたに老い

積木

荒井千佐代

礁打つ波のしろがね豊の秋

やすやすと園児の寝落つ柿日和

秋澄みて細る身体髪膚かな

人も手紙も夕刊も来ず葛の風

小鳥来る小暗き受胎告知の凶

姉の骨ほそくて崩れ冬桜

今春三月末で、大学法人（非常勤）を定年退職となる。休暇を取って、社会保険事務所とハローワークに足を運び下調べをした。それにしても、新年早々の九日というのに、ハローワークの混み合っていること。リストラ、特に派遣切りの影響であろう。昨年の今日迄と比べると、来訪者が数百人多いそうだ。失業者が何万人、住む処もなく食事も取れない持金0円の人達も数万人いるという現状。毎日報じられる派遣切りのニュースに私は釘付けになり、そして可哀相だと同じ言葉を繰り返す。貧しく無能力な私は、悲しいけれど何の役にも立てない。せめて国からの定額給付金とやらは、真実困っている方々へ回して戴きたい。屋根の下で眠れる私は心底そう願う。

神よ わたしを
あなたの平和のために用いてください
憎しみのあるところに 愛を

冬聖鐘冬耕の鋤草で拭く

障子貼る誰も住まざるちちの家

本売りて本を買ひ来しクリスマス

磨ぎ汁を畑へ流して小晦日

冬ざれやバツグの中の正露丸

病床の朝の早しよ霜の花

しまきぐも積木はいつも赤より積む

福音の愛・罪・罰やシクラメン

冬深む赤子を回し抱きしては

争いのあるところに 和解を

分裂のあるところに 一致を

疑いのあるところに 真実を

絶望のあるところに 希望を

悲しみのあるところに よろこびを

暗闇のあるところに 光を

もたらすことができますように

助け導いてください

神よ わたしに

慰められることよりも 慰めることを

理解されることよりも 理解することを

愛されることよりも 愛することを

望ませてください

わたしたちは与えることによって与えられ

すすんでゆるすことによってゆるされ

人のために死ぬことによって

永遠に生きることができるからです。

アシジの聖フランシスコの「平和の祈

り」だ。この祈りを毎日唱えても、日本

は明るく元気にならないだろう。だが、

何もできない私は、これだけでも捧げ続

けようと思う。

空真青

服部 早苗

出品のすんでからつぼ菊日和

天高し坐して茶筌の音聞かな

松手入鋏の音のねむくなる

露けしやふつうの草も薬草も

しぐるるやテントの中の陶器市

一冬木より配線を回収す



馬乗りに菰巻く男大蛇松

枯芙蓉滅多に曲ることのなく

冬凧やガラスを溶かす釜真赤

冬銀河半角文字の混み合へる

落葉踏む送り地蔵のかさこそと

銀杏ちる空を真青に母逝けり

母逝きて数日晴るる石路の花

寒の水くみおく眠り深くする

冬眠の珠をかかへてゐるごとく

奈良公園で寝そべっている一匹の鹿と撮った一枚の写真。この鹿は、子供が「はい」といつて差し出す鹿せんべいに見向きもせず、ただ目をつむって静かだった。角が切られているから牡だったのだ。こうして見ると、なんだかその貌は追憶にひたっているようにも見える。

去年十一月、機会があつて三度目の吉野へ旅した。そして帰り、正倉院展へ寄つた。開館時間からの長蛇の列に驚きながらも自分もその中の一人になり、数々の宝物を堪能して帰ってきた。

そして母が逝つたのはその九日後。母に旅の話もできなかった。母は吉野へ行ったことがあるのだろうか。正倉院展を見たことがあるのだろうか。そんなことより、もつともつと大事なことを聞くことがたくさんあつたはずなのに、何も聞いてはいないという思いが日々強くなる。今はただ自問自答するしかない。

たんぽぽ

樋口みのぶ

大岩に鳶の下り立つ初景色

七草を楷書正しく野草園

初詣旗を先立てバスガイド

なづな摘む外輪山に囲まれて

初空や雪にしづもる村あかり

下駄箱に宿の焼印松飾

荒海に向きてあまねし野水仙

三月や小石に描く花の色

たんぽぽや顔を上ぐれば牛の貌

あたたかや妊婦の腹にこゑかけて



・新年句会・

初句会のドアを開けると満席の状態で、「空」誌上でしか存じ上げない方々が参加されていた。緊張と後悔が頭を過ぎる。もっと勉強しておくのだった。句会では秀句ばかりで選句ノートに○印が増えてゆく。

句座は学びの場というが、新しい方が加わると、また新鮮な句に出会え勉強させてもらった。

句会の後は新年宴会。宴会だけの参加もあり自己紹介が始まる。皆様のお人柄に触れ、新しい年の幕開けにふさわしく「空」メンバー独特の明るさとあたたかさに満ちた会であった。

さあもう一度年頭の決意を新たにして頑張ろう。